

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 6 年 1 月 22 日

事業所名： いるか

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	玩具や備品は棚に整理し、活動のスペースの確保に努めています。	分からないとの回答が3名 残り全員が「はい」と回答	整理整頓に努め、十分なスペース確保を行う
	2	職員の適切な配置	最低人員配置基準は満たすよう心がけています。	分からないとの回答が3名 残り全員が「はい」と回答	不足しがちな時間帯には交代しながら人員の不足がないようにします。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性に応じたロッカーや靴箱など分かりやすい配置にしています。	分からないとの回答が3名 残り全員が「はい」と回答	写真などで保護者にも室内の様子をお伝えします。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃・消毒を行い、清潔に保っている。	どちらともいえないが1名 わからないが2名 はいが17名	清潔で安全に過ごせる空間づくりに努めます
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ケース記録を確認しながら、PDCAサイクルを円滑に循環できるよう、職員間での報告・連絡・相談に努めている。	/	新入社員にも伝えていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価を行い、業務の見直し・改善に努めている。	/	新入社員にも伝えていく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	所内研修は月1回行っており、外部研修も参加の機会を確保していく。	/	現状維持
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントは最低6ヶ月に1度行い、保護者のニーズを踏まえた計画を作成している。	/	今後もニーズをしっかりと踏まえながら計画を作成していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画の作成を行っている。	はいが19名 どちらともいえないが1名ずつ回答	現状維持
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な項目を設定し、分かりやすく支援の内容を記載している。	/	記載内容を詳しく丁寧に保護者へ説明するようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画を職員間で共通理解した上で、適切な支援を行っている。	はいが19名 どちらともいえないが1名	引き続き、個々に合わせた適切な支援を考え、計画を立てる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムに参加する職員が作成に参加し、立案に携わっている。		引き続き行う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短い時間の中で有効な過ごし方、休日は退屈しないようなプログラムや設定を行い、個々の支援を丁寧に行っている。	はいが18名 どちらともいえないが1名 わからないが1名	引き続き行う
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月テーマを変え、継続的な支援を行う一方、飽きないような支援の応報を工夫している。		活動のプログラムを分かりやすく保護者にもブログや会報にてお知らせする。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	サービス開始前に人数や配車の確認など、打ち合わせを行っている。		間違いがないよう、全員で確認していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	サービス終了後、職員間で1日の振り返りや保護者から聞いたことなどを情報共有している。		引き続き行う
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の記録は連絡帳に記載し、保管しており、支援の改善に繋げている。		引き続き行う
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	最低6ヶ月に1度はモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		引き続き行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議には事前に職員間でのミーティングを行い、児童発達支援管理責任者が出席している。	現状維持	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもはいない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもはいない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	より良い支援を行う為、特性や支援方法などを保育所・幼稚園などと情報共有している。	円滑な移行支援が行えるよう、引き続き行う	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なし	放課後等デイサービスは行っていない	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今後積極的に連携し、研修に参加していく。	専門機関との連携に努める。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	近くの児童館とは公園などで交流しており、他の施設とも交流を図っていく。	はいが9名 どちらともいえないが2名 いいえが2名 わからないが7名	移動の問題やスタッフの人数などの問題をクリアして交流の機会を設ける。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に開かれた事業の運営に努める。	はいが9名 どちらともいえないが2名 いいえが2名 わからないが7名	地域住民との繋がりを持てるような活動を検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書等で保護者に詳しく説明を行い、質問等があれば丁寧にお答えしている。	はいとの回答が100%	現状維持
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の内容を更新のたびに丁寧に内容説明し、ご理解頂いた上で署名・捺印頂いている。	はいが18名 どちらともいえないが2名	保護者にご理解頂けるよう、丁寧な説明を心がける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、適宜保護者の対応の仕方などは助言、アドバイス等を行っている。	はいが10名 どちらともいえないが3名 いいえが1名 わからないが6名	今後、必要に応じて取り組んでいく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にお話したり、連絡帳等で日頃から保護者とは発達の状況などの共通理解を図っている。	はいが19名 どちらともいえないが1名	発達の状況などを詳しくお伝えしていくようにする。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には丁寧に対応し、必要な助言を行っている。	はいが16名 どちらともいえないが4名	必要に応じて電話や来所での相談にもお答えしていきたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の開催はできていないが、保護者同士の連携の意向に応じている。	どちらともいえないが3名 いいえが11名 わからないが6名	保護者同士の繋がりができる仕組みを検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しての窓口を設け、真摯な対応を心がけている。	はいが12名 わからないが8名	引き続き、苦情に対しては真摯な対応を行い、改善に努める。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に応じた対応を行い、各々の指導員が適切な配慮を行っている。	はいとの回答が100%	引き続き行う
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便りやホームページにブログの掲載も行っている。	はいが18名 どちらともいえないが2名	活動の報告など保護者に見て楽しんでもらえるよう工夫して発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の同意書を頂き、鍵付き書庫にて保管し、取り扱いには十分に注意している。	はいが18名 いいえが1名 わからないが1名	個人情報の取り扱いは今後も慎重に行い、外部に漏れのないよう注意する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルについては定期的に職員研修を実施し、知識・技能向上に努め、契約時に保護者にも周知している。	はいが16名 どちらともいえないが1名 わからないが3名	新たに策定したマニュアルなどは職員や保護者にも周知していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回訓練を実施し、訓練前には避難や救出の想定を考察し、訓練後には振り返りや反省点などを話合っている。	はいが19名 どちらともいえないが1名	想定される災害に備えて訓練を行い、必要な物資などの準備も行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	1年に1回職員で研修を行い、虐待防止対策を講じている。		研修内容を更新し、職員の知識・技能の向上を図っていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当者はいないが、保護者には契約時に重要事項説明書にて説明を行っている。		該当者はいないが、身体拘束を行う場合には、職員同士で十分に注意しながら行い、保護者にも丁寧に説明を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの有無については契約時、アセスメント時に確認し、対応についても職員間で共有したうえで、誤食のないよう注意している。		医師の指示書のある児については指示に基づく適切な対応をしていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に今後の対応策を職員間で共有している。		事例を元に職員個々の対応力の向上に努める。











